

DATA FILE



六方晶系

名 前	EUDIALYTE (ユーダイアライト) / ユーダイアライト
化学組成	$\text{Na}_{15}\text{Ca}_6(\text{Fe}, \text{Mn})_3\text{Zr}_3(\text{Si}, \text{Nb})(\text{Si}_{25}\text{O}_{73})(\text{O}, \text{OH}, \text{H}_2\text{O})_3(\text{Cl}, \text{OH})_2$
色	ピンク色、赤色、赤褐色、黄褐色
光 沢	ガラス光沢、脂肪光沢、無光沢
蛍 光	なし
条 痕	無色
劈 開	明瞭
断 口	不規則
硬 度	5 ~ 5.5
比 重	2.8 ~ 3.0

ユーダイアライト

EUDIALYTE

霞石、エジリン、アルベゾ
ン閃石、方沸石、ソーダ沸
石などと共生する。

カナダのケベック
州で産出したユー
ダイアライト。

酸によく溶ける性
質を持つ。

劈開は明瞭で、ハ
ンマーでたたくと
不規則な断口があ
らわれる。

ガラス光沢や脂肪光沢
を持つが、光沢のない
ものもある。

霞石閃長岩pegmatite
イト中から産するこ
とが多い。



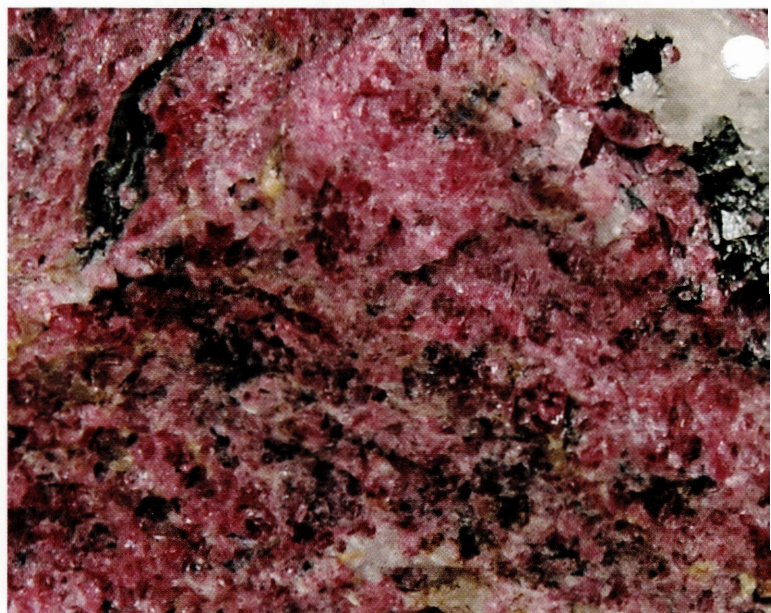
複雑な組成

グリーンランドで初めて発見され、1801年に独立種と認められたユーダイアライトは、主に霞石閃長岩や霞石閃長岩ペグマタイト中に生成し、ピンク色、赤色、赤褐色、黄褐色の結晶が角柱状や卓面状に成長する。ジルコニウムや希土類のニオブ、塩素などを含み、とても複雑な組成を持つのが特徴。ユーダイアライトのなかでも鉄やマンガン、カルシウムを多く含むものがノルウェーで発見されて「ユーコライト」と名づけられたが、ユーコライトは独立した鉱物種ではなく、ユーダイアライトの亜種として存在している。

▼塊状で産出したユーダイアライト。



▼ユーダイアライトの拡大写真。無数の微細な結晶が集合していることがわかる。



よく溶けるユーダイアライト

「ユーダイアライト」という名前は、「よく溶ける」という意味のギリシャ語を由来としている。鉱物名のとおり、ユーダイアライトはどのタイプの酸にも簡単に溶ける性質を持っているので、表面についた汚れをとる場合には酸を用いずに蒸留水で拭き取る。

▼カナダ産のユーダイアライト。黒色部はエジリン。



ユーダイアライト

主な産地

